



学校園だより

良樹細根

丹波篠山市立
たまみず幼稚園
城北畑小学校
5月の2



3月26日午前中、園庭において園児、保護者の皆さんに芝の苗を植えていただいて50日あまりが過ぎました。徐々にではありますが、小さな緑の葉が地面を覆ってきました。また、ジュンベリー、ニオイコブシ、タイサンボク、ミカン、イチジク、ロウバイ、ヤマボウシ、ポポー、キンカン、ブルーベリー等々の

植栽も業者にしていただきましたが、先日、サクランボが一つ実っているのに気がつきました。朝の日の光を受けて赤々と光っていました。たった一つだけでしたが、なぜかとても嬉しかったです。放課後、残っていた園児にもいでもらいました。恐る恐るもいでいました！

先日、園児が近くのお店に行き、野菜の苗を買いました。ナスビ、キュウリ、トマトなど、自分が選択したものを持ち帰り、早速土入れと苗植えをしました。今後、水やりや草引き、追い土などをこまめにしながら自分の野菜を大切に育てていくという意識を持たせていきたいと思ひます。植えただけで後は無関心とならないよう指導していきます。



あいさつ運動

コミュニティ・スクール主催のあいさつ運動が始まりました。保護者の方にあいさつ運動の案内を差し上げたところ、今年度も約6割の方の参加申し込みがあり、その多さに感謝しています。

また、各自治会長さんも参加していただき、10日の第1回目においても多くの方々に来ていただきました。「あいさつ運動実施中」とプリントがあるのぼりも新調しました。保護者の方、地域の方々、距離を取って昇降口前に並んでいただきながら、登校園する園児児童に元気な声で挨拶を交わしてもらいました。年10回実施しますが、次回2回目は、6月10日（木）です。朝のお忙しい時間帯ではございますが、今後ともどうかよろしくお願ひいたします。



初めてのリコーダー

14日（金）3年生が初めてリコーダーに触れ、音出しや指使いの学習をしました。学習指導要領には、「中学年では、児童が『いろいろな楽器を演奏することに挑戦したい』と思えるようにすることを大事にしながら、意欲を持って主体的に取り組むことができる器楽の活動を進めることが重要となる。そのような器楽の活動の中で、低学年

で感じ取った器楽表現の楽しさを基盤にしなが、既習の楽器を含めてリコーダーや鍵盤楽器、和楽器などの演奏に取り組み、曲の特徴を捉えた表現を工夫したり、思いや意図に合った表現で演奏したりする楽しさを味わうことができるように指導することが大切である。・・・(略) 指導に当たっては、それぞれの楽器の特性に応じた演奏の仕方が身に付くよう留意する必要がある。例えば、リコーダーの指導では、「トゥやティ、ルウ、トオなど、音の高さなどに応じたタンギングの仕方を身に付けるようにすることが考えられる。」とあります。リコーダーに息を吹き込む強さ、指使い、タンギング等の習得には時間を要しますが、コツコツと練習して楽器による表現の面白さや吹けるようになった、という喜びを感じてほしいと思ひます。



1年生、俳句に挑戦

「これ、清書しよか。」「6文字やから違う言葉にしよか。」「ここに、こいのぼり、と書こか。」「自分の鉛筆使う?」「おっ、きれいな字や。」「どんな言葉が浮かぶ?」「どんなイメージがする?」「そうそう、うまいで。」「・・・」13日（木）、体育館にて6年生が1年生に俳句の作り方を伝授しました。本校の継続した取組の一つである俳句作りは全校あげて実施しています。この日は初めて俳句に出会ったので、6年生が1年生にいろいろアドバイスをしました。1年生は平仮名を全部学習していないので、平仮名の書き方も含めて懇切丁寧に教えていました。優しく接している6年生に感心しました。5月のテーマは「つばめ、こいのぼり、シャボン玉、いちご、田植え」です。俳句は日本に昔から伝えられている文の書き方の一つであり、5・7・5の17音という短い文で作られていて、世界で一番短い文だと言われている。学習指導要領にも中学年の学習内容として「易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと」と明記されています。本校では1年生から取り組むなど、発展的に学習しています。想像したこと、感じたこと、思ったこと等を短い言葉で表現するのは大変難しいですが、様々な作品を紹介しながら作り方のコツもつかませていきます。

道徳親子読書感想文

本校では、平成26年度から文部科学省より配付された「私たちの道徳」と兵庫県版道徳教育副読本「こころはばたく」（低学年用）「心きらめく」（中学年用）「心ときめく」（高学年用）を持ち帰って、保護者の方と一緒にご家庭で読んでいただく取組を進めています。読書の推進とご家庭での人権的な話し合いを行う機会を設けることを目的としています。4年生の保護者さんからの感想です。たくさんの感想をいただき、ありがとうございます。

○スキーに行くとき、植村直巳さんの記念館の前を通りますが、世界で初めて五大陸最高峰を登頂されたとは知りませんでした。大人になって働くと、毎日がルーティン化してしまっていますが、何か新しいことにチャレンジしたいという気持ちが沸きました。（「夢、果てぬ思い」を読んで）
○偉業を成し遂げた原動力は、果てぬ夢であったと知り、今の私の夢は何かと自問してみました。コロナ禍でなければ・・・、とあきらめる事ばかりですが、この今を生きる子どもたちには植村さんのように大きな夢を持ってほしいと願ひます。（「夢、果てぬ思い」を読んで）
○私の大切なものは笑顔です。なぜなら、笑顔は周りの人をととても幸福な気持ちにしてくれるからです。皆が笑顔で暮らせるような世界になればいいと思ひます。それと忘れてはいけないのは優しい心、言葉です。それは、人を笑顔にする一番の方法だからです。（「わたしの大切なもの」を読んで）
○モンゴルの遊牧民の生活について一緒に調べてみました。モンゴルの人にとって「羊」がどのような存在なのかを考えながら、大切にしている理由を深く話し合うことができました。世界の人の「大切なもの」の形はそれぞれだけど、そこには必ず「人と人とのつながり」があると気づきました。自分と相手がいってこそそのつながり、そこにある自分の気持ちに向き合うよい機会になりました。（「わたしの大切なもの」を読んで）